

2024年10月16日

各位

ENEOS株式会社

## 国内潤滑油業界初 ENEOS潤滑油・グリース製品のCFPを提供開始 ～潤滑油・グリース製品のCFP算定システムを開発～

ENEOS株式会社（社長：山口 敦治）は、当社の潤滑油・グリース製品について、製品別カーボンフットプリント（以下、CFP<sup>※1</sup>）算定システムを開発し、2024年10月より、本システムで算定したCFPをお客様に提供開始しましたのでお知らせいたします<sup>※2</sup>。潤滑油・グリース製品のCFP算定は、国内潤滑油業界初となります。

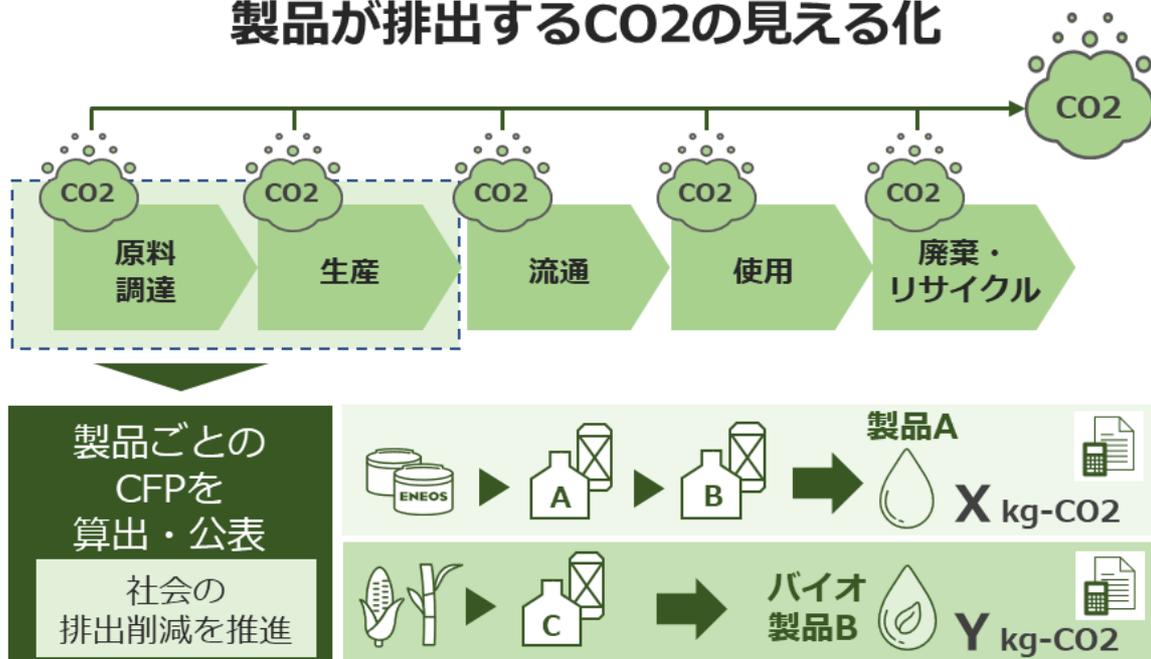
今般開発した潤滑油・グリース製品のCFP算定システムにより、原料や製品の種類が多岐にわたる潤滑油・グリース製品において、簡易的かつ効率的にCFPを算定し、お客様へ迅速にCFPを提供することが可能となりました。また、各種ガイドライン<sup>※3</sup>を参照し、潤滑油・グリース製品のCFP算定ロジックを確立することで、より正確な数値を提供できるよう取り組んでいます。

なお、潤滑油・グリース製品の原料である基油の一部については、株式会社ウェストボックスおよび株式会社NTTデータと共同で開発した製品別CFP管理システム<sup>※4</sup>により算定されたCFPを一次データ<sup>※5</sup>として使用しています。

当社は、グループの長期ビジョンにおいて「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立への挑戦を掲げ、「脱炭素・循環型社会への貢献」を目指しています。今回の取り組みを通して、潤滑油サプライチェーンのライフサイクル全体におけるCO<sub>2</sub>排出量の可視化に寄与するとともに、植物由来の原料を使用した潤滑油・グリース商品「ENEOS GXシリーズ」の販売<sup>※6</sup>や、使用済み潤滑油を原料とした低炭素基油の製造および事業検討<sup>※7</sup>を進めることで、カーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献してまいります。

# カーボンフットプリント（CFP）

## 製品が排出するCO<sub>2</sub>の見える化



図：CFPとは

- ※1 CFP：製品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでの間に排出される温室効果ガスをCO<sub>2</sub>に換算したもの。本リリースでは原材料調達から出荷までの排出量（Cradle-to-Gate）を指す。
- ※2 日本で製造した潤滑油・グリース製品に限る。
- ※3 ISO14040、14044、14067、経済産業省「カーボンフットプリントガイドライン」
- ※4 2024年4月8日公開「[国内石油業界初 ENEOS石油製品のCFPを提供開始](#)」
- ※5 一次データ：製品システム内で実際に取得されたデータに基づく計算値から得られるプロセス、活動、排出係数の定量化された値を指す。CFP算出者が自ら収集・把握した個別データ。
- ※6 2023年4月21日公開「[省エネルギー型バイオマス潤滑油・グリースの販売開始について](#)」
- ※7 2024年5月27日公開「[循環型社会の実現に貢献する低炭素潤滑油基油の製造プロセス構築について](#)」

以上